



# 若竹だよい

291



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

父母の恩・社会の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切に作る人間となろう  
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

## 【巻頭言】

### 「感謝からの出発」

園長 宮竹 恒

平成30年3月30日、桜の花が満開の良き日に、若竹学園増改築工事落成式・落成祝賀会を行うことが出来ました。ご参加を賜りました支援者の皆様方にあらためて感謝申し上げます。

子ども達は、落成式ではハーブティーのお接待、祝賀会に於いては若竹太鼓演奏を行いました。

若竹太鼓演奏では、日頃よりご指導頂いている「和太鼓集団満天」と一緒に園生全員で披露することが出来ました。子ども達の演奏する姿は、まさに【私たちの願い】にある、「よろこんで与える人間となろう」を実践しており感動を与えていました。ご参加頂きました支援者の皆様方が子ども達の成長する瞬間を温かく見守って頂いたことに心より感謝いたしております。

祝賀会の際に贈呈賜りました竹製毛布は子ども達が毎日愛用しております。寒暖の差が激しい山の気候には大変ありがたい毛布です。

また、役員の皆様方から贈呈賜りました机と椅子が届いた際、子ども達は大変喜び、すぐに職員と一緒に組み立てをしました。新しい園舎で生活を始め、個室で生活できることを非常に喜んでいました。新学期を迎え、子ども達は大切に机と椅子を使用して

おります。

さて、新年度が始まり、子ども達と生活を共にしていると、法人基本理念である「報四恩」についてあらためて考えさせられることがありました。

例年参加させて頂いております、高松紫雲ライオンズクラブ様主催の「紫雲ライオンズウォーク」に於いては、子ども達が自然を感じると共に地域との繋がりを感じさせて頂く機会を与えて頂きました。

また、若竹学園マラソン部が初めて、「しこく88kmリレーマラソン」に参加した際、子ども達の姿を見て感じる事が出来ました。子ども達が必死にタスキを繋いでいる姿、そして参加した沢山のチームと競い合っている姿を見ると、子ども達が社会（他者と共に）の中で成長していることを実感しました。

そして、日頃、学園周辺の山道で練習をしてきた結果、子ども達が練習時の予測を上回るスピードで走る事が出来たことに感動いたしました。子ども達の努力を感じるとともに、普段、当たり前のように過ごしている自然が大きな力を蓄えさせてくれたことが分かりました。

始まりの春、与えられている環境（人、社会、大自然）に感謝しつつ、子ども達、職員と一緒に成長し、それぞれの花を咲かせいくことで、恩に報いることが出来ればと考えております。

— 了 —

## 青峰・若竹学級だより

本年度は、青峰学級（中学生）8名、若竹学級（小学生）3名、学校職員6名の計17名でスタートしました。

「挑戦、失敗を恐れず何度でも挑戦」をスローガンに掲げ、さまざまな教育活動を実施し、子どもたちの成長を支援していきたいと思えます。

### 本年度の重点

#### 1. 子どもに寄り添った支援・指導

子どもや保護者の願いの実現に向けて、個に応じた支援・指導を行います。

#### 2. 基礎学力の充実

繰り返し課題に取り組ませ、また、分かる授業を展開し、「読み・書き・計算」ができるようにします。

#### 3. 自尊感情の育成

子どもらが自らを見つめ、伸びやよさを実感しながら目標に向かって挑戦できるよう、教職員全員で支援していきます。

#### 4. 体験活動の重視







若竹学園の特色である座禅、五色台での野外活動、校外施設でのふれあい体験活動を実施し、子どもたちのよさを見つけ、ほめていきます。

#### 5. 進路保障の充実

昨年度は、2名の生徒が公立高校に合格し、ほぼ全員が志望校へ進学しました。本年度も、本人や保護者の意向をふまえ、原籍校や関係機関との連携を密にし、上級学校への進学を見据えた進指導を実施します。

### 学校職員の紹介

① 氏名、② 担当、③ 趣味、④ 座右の銘

① 岡本 勝彦 	① 福田啓太郎 
② 中3担任（理科）	② 小学校担任
③ ドライブ	③ ランニング
④ 諦めたらそこで終わり	④ 一生青春
① 植松 繁 	① 平井 千春 
② 中2担任（数学）	② 小学校担任
③ 列車に乗ること	③ 読書
④ 大きく深呼吸	④ 一生勉強
① 尾野 弘司 	① 大恵 淑恵 
② 中1担任（社会）	② 学習支援（小中）
③ 旅行、スキー	③ 嵐
④ Que sera sera	④ 一期一会

## 落成式・祝賀会

3月30日、園舎の増改築落成式と祝賀会を行いました。天気にも恵まれ、学園や五色台の満開の桜とともに子ども達もたくさんのお客さんを出迎えました。



落成式が始まる前には、ハーブティのお接待をしました。ハーブティは、喝破道場さんのハーブ園でできたハーブを使用しました。遍路小屋でいつもお遍路さんにお接待をして慣れているので、笑顔で気持ち良い声掛けをしながらお接待することができていました。



花樹海で行われた祝賀会では、いつもお世話になっている和太鼓集団満天さんと一緒に太鼓の演奏を披露しました。大勢のお客さんの前でしたが、全員が参加して、それぞれの役割を全うすることができました。たくさんの方からお褒めの言葉をいただきました。

太鼓演奏後には記念品を中三生の代表二人が受贈しました。日ごろよりご支援頂いてい



る役員の方々からは、机と椅子を、環境問題に取り組む会の方々からは、竹の粉を使って作られた竹毛布を贈呈していただきました。

この日の夕食は、イオンに行きました。フードコートなどで自分の好きなものを選んで食べました。子ども達の笑顔には達成感が溢れていました。

## ふれ愛ウォーク



4月1日は、紫雲ライオンズクラブさんに招待していただき、峰山にウォークラリーに行きました。アップダウンの激しい山道をずんずん進んでいく見もしました。完歩した後は、おいしい豚汁とおにぎりをごちそうになりました。

## お花見



4月3日には、白峰寺まで歩いてお花見に行ってきました。到着後は、桜の下でオードブルや豚汁、おにぎりを食べました。今年の桜は開花が早く当日は散り始めていたので、桜舞うオードブルとなり、より一層おいしく感じたのではないのでしょうか。

## マラソン大会

4月15日は、マラソン部の3名の男児がリレーマラソンに参加しました。初めての大会参加でしたが、なんと総合4位・一般部門1位という成績を残すことができました。子ども達のあふれるパワーを改めて知ることができました。本当に、おめでとう！





# クレープ作り

4月21日の食育では、クレープ作りをしました。子ども達が大好きなイチゴや生クリームなどを具材にしました。旬のイチゴはとても甘く、食材でも春を感じながら嬉しそうに食べていました。



# 4月行事

- 1日 紫雲ウォーク
- 3日 お花見
- 6日 図書館学習
- 15日 マラソン大会
- 19日 買物学習
- 21日 食育

# タケノコ掘り

春になり、ニョキニョキとタケノコができたので園生と一緒に掘りに行きました。遍路小屋の近くにある竹林につくと、子ども達は土に隠れたタケノコを直ぐにみつけ、自分の力で上手に取る事が出来ていました。



## 職員紹介

### 4月からよろしくおねがいます

<生活>都丸 瑞紀

大学を卒業したばかりの未熟者ですが、若者らしく元気に、子ども達を一番に想ってお仕事頑張っていきたいです。よろしくお願いたします。

～御寄附ありがとうございました～

たまや 様 食品、雑貨一式  
黒田 恵未様・菰田 満由美様 竹毛布 30枚  
四恩の里役員一同 園生居室用机・椅子一式

3月30日の落成・祝賀会では大勢の皆様からお慶びを頂き誠にありがとうございました。

### 在籍人数

平成30年4月25日現在

区分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男子	小学生	2	1	3
	中学生	3	2	5
	その他	0	0	0
	計	5	3	8
女子	小学生	0	0	0
	中学生	4	1	5
	その他	0	0	0
	計	4	1	5
合計		9	4	13

**編集後記**新学年の生活に子ども達もようやく慣れてきました。たくさんの行事を子ども達と楽しみながら過ごしていきたいと思えます。

児童指導員 山本 瞳

### 第291発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール [wakatake@4on.or.jp](mailto:wakatake@4on.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒